

# 定例部長会議開催結果 概要

|   |   |         |           |           |
|---|---|---------|-----------|-----------|
| ●日時   | 令和7年4月1日（火） 午後2時30分から午後3時40分まで  |         |           |           |
| ●場所   | 3A会議室   |         |           |           |
| ●出席者  | ■は出席（代理出席は○）  |         |           |           |
|   | ■ 市長  | ■ 石原副市長 | ■ 高橋副市長   | ■ 教育長     |
|   | ■ 政策部長  | ■ 総務部長  | ■ 税務担当部長  | ■ 暮らし安心部長 |
|   | ■ 文化スポーツ部長  | ■ 福祉部長  | ■ こども健康部長 | ■ 環境産業部長  |
|   | ■ はだの魅力づくり担当部長  | ■ 都市部長  | ■ 建設部長    | ■ 上下水道局長  |
| ■ 教育部長  | ■ 消防長   |         |           |           |
| 進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課課長代理（政策調整担当）、担当<br>陪席：秘書課長 |   |         |           |           |
| ●会議   | 1 市長あいさつ<br>2 報告事項<br>(1) 工事請負契約の締結について [契約検査課・水道施設課]<br>(2) 市制施行70周年記念事業の実施計画（改訂版）について [総合政策課]<br>(3) 令和7年国勢調査の実施について [行政経営課]<br>(4) 繰越事業について [財政課]<br>(5) 民生委員・児童委員の全国一斉改選について [地域共生推進課]<br>(6) 新型コロナウイルスワクチン接種事業報告書について [健康づくり課]<br>(7) 秦野市休日夜間急患診療所等整備方針について [健康づくり課]<br>(8) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]<br>3 その他  |         |           |           |
| ●会議概要   | 1 市長あいさつ<br>・先月24日に閉会した第1回定例会では、新年度予算をはじめとする全ての提出議案が、原案どおり議決された。予算編成から議会終了までの長きにわたり、部局長をはじめとする職員が努力した結果であり、改めて感謝する。<br>・4月1日付けで、昇任・昇格者154名、異動者213名、新規採用者41名、合計408名の人事異動を発令した。<br>・今回の人事異動は、性別を問わず、若手からベテランまで幅広い世代の職員の能力や実績をしっかりと見極め、職員一人ひとりの力を最大限引き出すことができる人事配置を、基本的な考え方とした。<br>・言うまでもなく、まちづくりを担うのは、職員一人ひとりである。まちづくりへの課題が複雑化・多様化する中、主体的に考え、行動する人材の育成、職員の持てる能力を最大限発揮できる職場環境づくりは、組織として欠かすことのできない、とても重要なことであり、部局長にとって大切な仕事となるため、日頃から、職員のモチベーションを高める声掛けや助言、指導、監督のほか、コミュニケーションを密にしてもらいたい。<br>・特に、新採用職員は、まずは職場に慣れてもらうことが肝要である。市職員としての心構えや仕事に臨む姿勢を身に付け、能力を最大限引き出せるか否かは、最初の職場の双肩にかかっているため、折に触れての目配りを願います。 |         |           |           |

・まちづくりについて、私の市政に臨む所信の一端は、施政方針や代表質問を通して、十分理解してもらっているものと思うが、秦野市の将来を見据え、これまでの7年間で、成長の種をまいてきた様々な取組みが形になりつつある。

・この歩みを止めることなく、更に大きく開花させ、実りある成果として、市民にも実感してもらえそうな一年にしたい。

・去年は、本市でも震度4を記録した地震のほか、台風第10号に伴う大雨により、土砂崩れや浸水などの大きな被害を受けた。また、激甚化、頻発化する自然災害に加え、高齢化の進行による救急需要の増大や新東名における災害・救助活動など、これまで以上に幅広い対応が求められている。

・こうした中、今年1月25日に「秦野市・伊勢原市共同消防指令センター」を開所したが、市民の生命と安全・安心な暮らしを守るため、起こりうる様々な災害に対し、両市の相互応援体制をより一層強化するとともに、引き続き、防災・減災対策、地域コミュニティの充実・強化に取り組んでいきたい。

・市制施行70周年を迎え、記念すべき節目となる今年は、「みんなでつなぐ未来のHADANO」をテーマに、市民の皆様とともに様々な記念事業を展開していく。記念式典をはじめ、「全国報徳サミット」や「名水サミット」などを通じて、改めて秦野市の歴史と魅力を振り返り、学び、未来へつなげていきたい。

・市民に「ふるさと秦野」への誇りと愛着をより一層深めてもらえるよう、秦野市全体で盛り上げていきたい。

・また、昨年12月に開始した電子地域通貨OMOTANコインは、ポイントバックキャンペーンの効果もあって、順調なスタートとなったが、持続可能なものとするためには、これからが重要となる。

・事業者の取組みを後押ししながら、OMOTANコインの魅力を更に高め、より多くの方に利便性を実感してもらうことで、地域内消費の拡大と地域コミュニティの活性化につなげ、みんなで支えるOMOTANコインとしていきたい。

・さらに、令和8年度の県道705号の対面通行開始、令和9年度の新東名全線開通と秦野丹沢サービスエリアの開設といった好機を逸することなく、中心市街地の活性化や新たな産業拠点の整備による企業誘致の支援などに取り組む、「表丹沢の魅力づくり」と「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」を一体的に推し進めると同時に、「女性と子どもが住みやすいまちづくり」と「移住・定住施策」を組み合わせながら、「行ってみたい」、「住んでみたい」、「住み続けたい」と実感していただけるよう、誰もが魅力を感じる「全国屈指の森林観光都市」を目指していきたい。

・こうしたハード・ソフト両面から、様々な取組みを着実に進めながら、財政健全化を堅持しつつ、将来を見据えた投資をすべき時だと判断している。

・そのほか、「カーボンニュートラルのまちづくり」や「デジタル化の推進」、「地域の魅力を高める広域行政の推進」なども、積極果敢に挑戦して

いきたい。

・そして、今年度は、令和8年度からの「総合計画・後期基本計画」を策定する年である。社会経済情勢が目まぐるしく変化する中で、複雑かつ多様化する地方自治体の課題に対応できるよう、二宮尊徳翁の教えである「至誠、勤労、分度、推譲」を念頭に置きながら、幅広い世代・分野の市民の英知を結集し、オール秦野でこれからのまちづくりを描いていく。

・4月18日から行う「重要施策ヒアリング」は、重点施策だけでなく、市政全般にわたり、今後の政策の方向性を明確にするための大事なヒアリングであり、夏のサマーレビュー、秋から始まる予算編成へとつながるものでもある。このヒアリングに向けて、部局内はもちろんのこと、関係部局とも徹底的に議論してもらい、具体的な目標をもって、それぞれの方針をしっかりと見定め、一年間の取組みを明確にする決意を表明してもらいたい。

・新年度早々に調整が大変かと思うが、部局長の強いリーダーシップのもと、秦野市のさらなる発展のため、重要施策ヒアリングを皮切りに、様々議論していきたい。

・年度切り替えのこの時期は、色々なことに忙殺され、何かと事務手続きがおろそかになりがちだが、十分注意しながら、事務を進めてもらいたい。

・また、業務の執行、職責を全うするためには、皆さんの心と体が健康であることが最も重要である。日頃から健康管理には十分留意し、それを支える家族を大切にしながら、職務に邁進してもらいたい。

## 2 報告事項

### (1) 工事請負契約の締結について [契約検査課・水道施設課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

### (2) 市制施行70周年記念事業の実施計画（改訂版）について [総合政策課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 市民アイデア事業はいつまで募集しているのか。

答. 本年10月末までの募集となる。

### (3) 令和7年国勢調査の実施について [行政経営課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 1 ページ目の項番4に、調査員と指導員の従事を職員に依頼すると記載があるが、職員の居住地によって配置の違いはあるか。

答. 勤務時間外に従事してもらうこととなるため、市外在住の職員であれば、交通手段を考慮して駅の近辺、市内在住の職員であれば、居住地の近辺を基本として配置する。

- (4) 繰越事業について [財政課]  
【説明】資料に基づいて説明  
【意見・質疑】なし
- (5) 民生委員・児童委員の全国一斉改選について [地域共生推進課]  
【説明】資料に基づいて説明  
【意見・質疑】  
問. 2 ページ目に記載されている現民生委員を対象とした継続意向調査について、継続の意向がある委員はどの程度か。  
答. 「再任する」、「迷っている」、「再任しない」の選択肢があり、「再任する」と回答した人は 45 パーセント程度で、「迷っている」も含めると 60 パーセント程度となる。  
問. 回答が変化する可能性はあるのか。  
答. 「迷っている」と回答した人は再任してもらえる可能性があるため、今後お願いに回る予定である。
- (6) 新型コロナウイルスワクチン接種事業報告書について [健康づくり課]  
【説明】資料に基づいて説明  
【意見・質疑】なし
- (7) 秦野市休日夜間急患診療所等整備方針について [健康づくり課]  
【説明】資料に基づいて説明  
【意見・質疑】  
問. 2 ページ目の今後の進め方について、「(医師会)」等の記載について、カッコ書きで記載された者が費用を負担するということか。  
答. その通りである。しかし、補助金の活用等も含めて、詳細は検討中である。  
問. 「土地貸借契約」を締結することだが、使用貸借と賃貸借どちらになるのか。  
答. 協議中であり、決まっていない。  
問. 秦野市休日夜間急患診療所等整備検討会の今後はどのようなか。  
答. 整備方針検討のために設置した検討会のため、ここで解散となる。  
今後は、建設に向けた準備委員会が、医師会等を中心に組織される見込みである。
- (8) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課]  
【説明】資料に基づいて説明  
【意見・質疑】  
問. 3 ページ目に記載の共同住宅は学生用か。  
答. そのように聞いている。  
意見. 入居率など情報を集めて、何かの機会に報告してもらいたい。